

# ASC 年次報告書

## 水産養殖業の変革

ミッションに沿った継続的な改善、  
プログラム開発や意識改革の推進

# 2021



# ASC最高責任者ごあいさつ

2021年と、最初の水産養殖場がASC認証を取得してからの10年を振り返りながら、責任ある水産養殖業に対する認識の高まりと、私たちのミッションを支持し、改善の推進を促し続けてくれるパートナーやステークホルダーを祝福します。

ASCプログラムは、養殖業界が環境と社会に与える負荷を最小化するためのベストプラクティスを推進します。この一年は少し違った様相を呈しましたが、ASCの革新性により、我々のプログラムおよびASCラベル付き製品をオーディエンスに届く新しい方法で販促し続け、システムの改善を進め、組織に投資してきました。

2021年、ASC認証とラベリングプログラムは、現在進行中のCOVIDの世界的な影響にもかかわらず、成長を続けてい

ます。養殖場認証は、主要な市場における認証製品へのASCラベルの採用と使用が力強い伸びを見せたことで、拡大しました。ASCは、世界の水産養殖業が深刻な課題に直面している時に、養殖業に効果的で有益な影響を与え続けました。2021年を通してASCが水産業界に提供したサプライチェーンサービスは、引き続き世界中で取り上げられ、利用されています。

ASCは、11魚種に特化した養殖場基準、およびASC-MSC共同の海藻基準を引き続き運用し、世界中で関連する魚や海藻類の養殖に適用しました。私たちは将来に向けてASC飼料基準v1.0を発表し、飼料原料の生産と飼料サプライチェーンのトレーサビリティなど飼料に関する主要な影響に対処します。2021年には養殖事業の新しい基準は発表されませんでした。エビ基準の改訂による対象魚種の追加や、閉鎖循環式陸上養殖（RAS）モジュールの開発はASC養殖基準で認められている既存のすべての魚種をカバーしています。私たちは、養殖業者と認証機関にとっての審査の効率性をさらに高めるために、養殖基準の策定とコンサルテーション、認証制度の合理化を続けました。全体として、ASCの認証プログラムは、継続的に基準を向上させ、知識と業界の変化に対応するというASCの継続的なコミットメントを実現するものです。

ASC認証への関心は世界的に継続し、2021年には47の国と地域にASC認証養殖場が存在するようになりました。市場へのアクセスを担う商業パートナーやその他のパートナーに支えられASCラベル付き製品への関心は引き続き堅調な伸びを示しています。ASC製品を取り扱うすべての企業がCoC認証を受けることで、このような可視性が可能になります。サプライチェーン・パートナーの85%が認証された養殖製品と天然製品の両方を取り扱っているため、このコラボレーションはパートナーに多くの利益をもたらしています。

ASCのプログラムおよびラベル付き製品のプロモーションは、ASCの活動にとって非常に重要です。2021年、ほとんどの国際・国内イベントが縮小されたため、ASCは各国に配属されたスタッフによる活動を中心に行いました。ASCは、特に消費者の間でASCラベルの認知度と理解を高めることを目的として、オンラ

インを最大限に活用したキャンペーンをより多く実施しました。オーストラリア、フランス、日本、オランダ、ベルギー、ドイツにおいて、ASCを世界中の数百万人の消費者に訴求するパートナー主導のマーケティングキャンペーンが実施され、これは米国、カナダを含む他の市場にも拡大される予定です。

ASCは、組織を強化し、さらに発展させる機会を得ました。ASCのサービスに対する需要の高まりに伴い、私たちは人材を拡大してきました。計画された再構築の一環として、2021年にはブランドチームが設立され、マーケット&コミュニケーション部門のシニアディレクターが任命され、ASCの評判を高め、マーケティング能力を開発しました。

また、社内外のコミュニケーションとエンゲージメントを拡大し、ASCのコラボレーションと知識共有の文化を強化するための取り組みが行われました。

今後の展望として、私たちのミッションをサポートするために、継続的な改善、プログラムの開発、認知度の向上に取り組んでいきたいと考えています。私たちの最初の年次報告書である本書では、ASCは2021年からの成功と課題を共有し、毎年継続的な進歩を示すことを記しています。



クリス・ニネス, CEO

# 目次

ASC最高責任者ごあいさつ	02
数字で見る2021年	08
改善プロジェクト	12
認証魚種	20
社会と環境の改善への取り組み	28
消費者への普及活動	36
誠実な制度であるために	46
ステークホルダーとの連携	54
協働を何よりも大切に	60
財務報告	64
より良い将来のために	68

“私たちが経験した最大の変化は、責任ある養殖への転換とASC認証の取得と、品質向上による収入の増加、労働時間の短縮、新しい養殖業者の職業への参入が実現したことだと思います。”

宮城県漁業協同組合

志津川支所長 阿部富士夫



ASCは、責任ある養殖場で生産された認証水産物を、定められたサプライヤーが利用できるラベルを通じて、市場で販促しています。このように、ASCは、責任を持って生産された水産物の需要と供給の両方に影響を与えるよう活動しています。ASCプログラムが提供する付加価値とポジティブなインパクトは、明確に示されています。







# 01 数字で見る 2021年



# 数字で見る2021年

世界の水産物に対する需要は高まり続けています。

養殖水産物はすでに世界で消費される水産物の半分以上を占めており、今後もさらに需要が拡大するとみられ、環境や社会に対する負荷を最小限にすることが重要になります。

ASCは、これらの課題に取り組む責任ある養殖の普及に努めます。

2021年、ASCは、ASC認証へのアクセス性向上、既存市場でのプレゼンス維持と新規市場への拡大、21,000以上のASC認証製品を消費者に提供することに特化した活動により、プログラムの継続的成長を実現しました。



**1,800**  
環境面の改善



**893**  
社会的・コミュニティ改善



**89**  
法的改善

## 我々のミッション

サプライチェーン全体で価値を創造する効率的な市場メカニズムを用いて、水産養殖業を環境と社会に配慮した持続可能な業界に変革する。



**58.7%**

2020年からのASC認証水産物の増加



1,648

認証取得養殖場



90

ASC認証製品を販売している国



1,200

ロゴライセンス締結企業



2,706

CoC認証取得企業



49

認証取得魚種



21,316

消費者向けラベル付き製品

**2011:**  
ティラピア・パンガシウス・  
二枚貝・アワビ基準発表



**2013:**  
淡水マス基準



**2016:**  
ブリ・スギ基準



**2019:**  
タイ・スズキ・オオニベ基準、  
カレイ目の魚類・  
熱帯魚類基準



**2012:**

ASCの最初の養殖場  
が認証を取得、最初の  
CoC認証発行、サケ基  
準を発表



**2014:**  
エビ基準



**2018:**

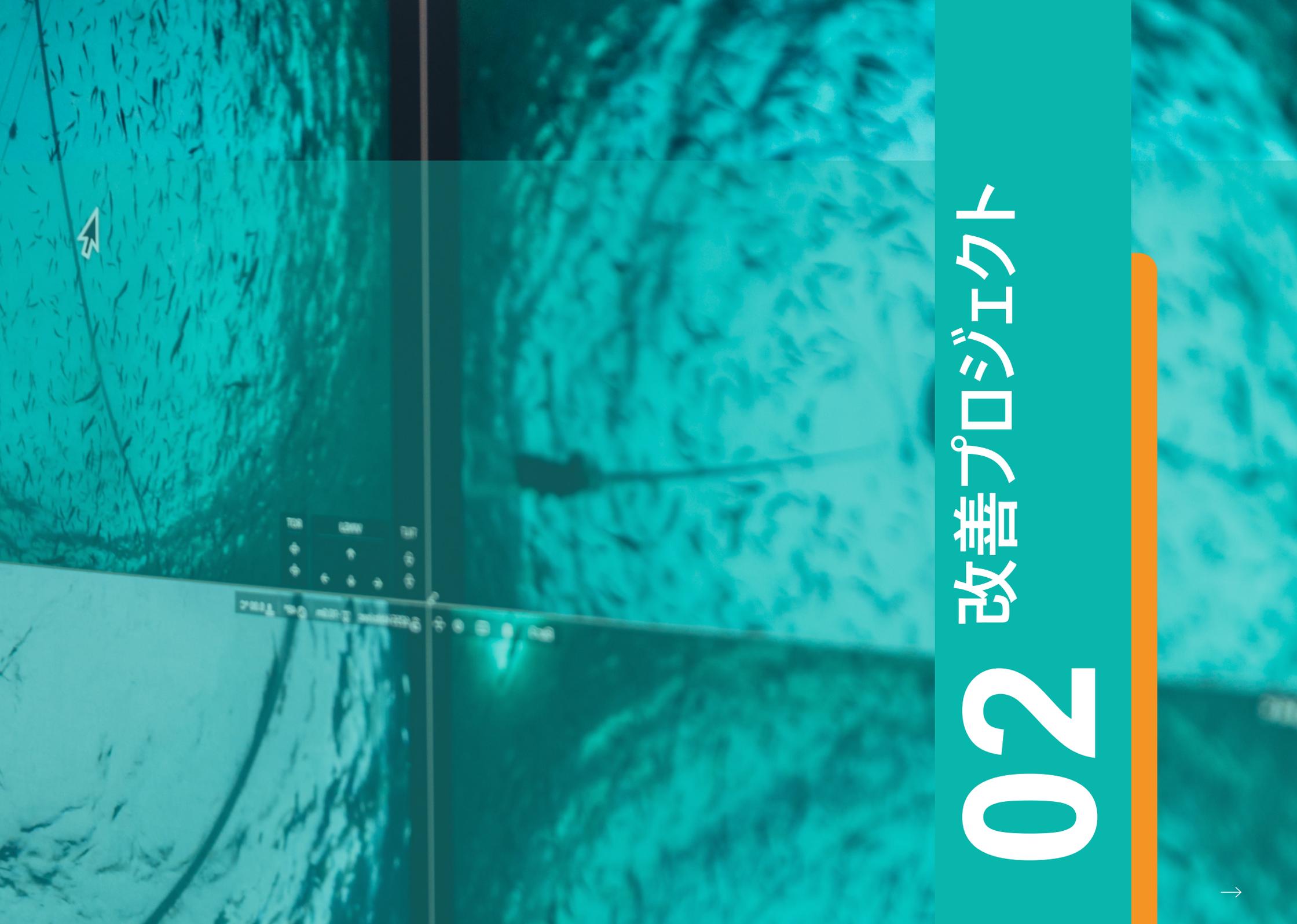
ASC-MSC共同海藻  
基準



**2021:**  
RASモジュール







# 02 改善プロジェクト

# 私たちが思い描く変革

世界の水産養殖生産は 40 年以上にわたって一貫して増加し続けています。このことは、人口増加、気候変動、天然水産物の漁獲量減少と相まって、責任ある水産養殖業のさらなる普及とそれらが市場で評価されることの重要性がより高まっています。

環境への悪影響を最小限に抑えつつ、人類に食糧と社会的利益を供給するために水産養殖業が大きな役割を果たす世界。

2021年、ASCはグローバル基準と認証制度を強化し、さらに発展させ、養殖現場での向上が有意義で測定可能であることを確実にしました。

ASCのプログラム、活動、技術プロジェクト、キャンペーンは、最も急速に成長している食品生産システムとしての水産養殖業の役割と、環境と地域社会への影響を最小限に抑える必要性を認識しています。ASCは、責任ある養殖生産を促進し、報奨を与え、人々が水産物を購入する際の選択に影響を与えることにより、水産養殖が環境と社会に配慮した責任ある生産に向けて変革されることを確信しています。

## ASC認証の利便性を向上

水産養殖業の成長と革新に対応するため、2021年にASC基準の2つの重要な改善が行われました。

エビ基準には、淡水エビやザリガニなどの新たな甲殻類が対象として追加され、市場で販売されるASC認証の魚種が追加されました。改訂された基準では、飼料に含まれる魚粉・魚油の使用などの重要なパフォーマンス指標も強化され、養殖場レベルでの環境負荷をさらに軽減しています。

閉鎖循環式陸上養殖（RAS）モジュールは、水産養殖業界におけるRASの増加傾向を反映してリリースされました。

このモジュールは水資源への悪影響を最小限に抑え、環境的に効率的で責任ある資源の利用を実現するため、現行の基準に追加してRAS養殖場特有の要件を詳述しています。これらの改善を行うことで、ASCは、さまざまな養殖事業に関連する影響に対応していることをより確実にしました。



## 養殖の影響は養殖場の外にも及んでいる

ASC 飼料基準の立ち上げにより、私たちは責任ある養殖へのアプローチを、養殖飼料を製造する飼料工場、その原料の供給者、原料の生産にまで広げます。これは、大豆やパーム油に加え、小麦、トウモロコシ、キャノーラなどの主要な農作物や水産物の原料を含む、飼料原料の生産と飼料サプライチェーンのトレーサビリティに関わるすべての主要な影響を考慮した初めての基準です。

ASC飼料基準は水産原料の改善モデルを使用しており、飼料工場は時間をかけてより持続可能な漁業から調達し、サプライチェーンにおけるリスクを評価し、森林破壊や土地転換のない原料の調達に移行することを要求しています。ASCの認証を受けた飼料工場は、エネルギー使用量と温室効果ガス排出量を記録・報告する必要があり、業界がサプライチェーンにおけるフットプリントを監視・削減することに貢献します。

ASCの社会的責任に関する原則は、ASC飼料基準を通じて維持されています。地域コミュニティへの影響を評価・削減し、労働者の公正で透明な待遇を確保するための要件は、工場のサプライチェーン全体における新しいデューデリジェンス要件によってさらに強化されています。このリリースにより、ASCは養殖場認証と並ぶ認証プログラムの第二の柱を達成しました。本基準および保証書は、2023年1月に発効する予定です。

## ASCはモニタリングと評価への取り組みを強化

2021年、ASCはモニタリングと評価（M&E）フレームワークの全面的な見直しを行いました。影響のモニタリングは、ASCプログラムの重要な要素です。海藻のASC-MSC共同基準に加え、11魚種の基準を管理する認証プログラムでは、データの収集、使用、報告に対して、より一貫した厳格なアプローチが必要になってきています。

ASCのM&Eシステムは、(i) 養殖場の社会的・環境的パフォーマンス、(ii) 認証システムの有効性と効率性、(iii) 市場パフォーマンスの3つの主要な分野に焦点を当てています。改訂されたM&Eフレームワークは、成長と達成度、戦略、持続可能性を測る一連の指標を通じて、これらの分野をモニタリングします。

ASCのM&Eフレームワークは、私たちの目標達成能力を測定するために設計された一連の指標で構成されています。



### 成長と達成度

私たちは、地域、地方、そして世界規模でのプログラムの普及と認知度に関する情報を伝えるため、成長と達成度の指標をモニタリングしています。



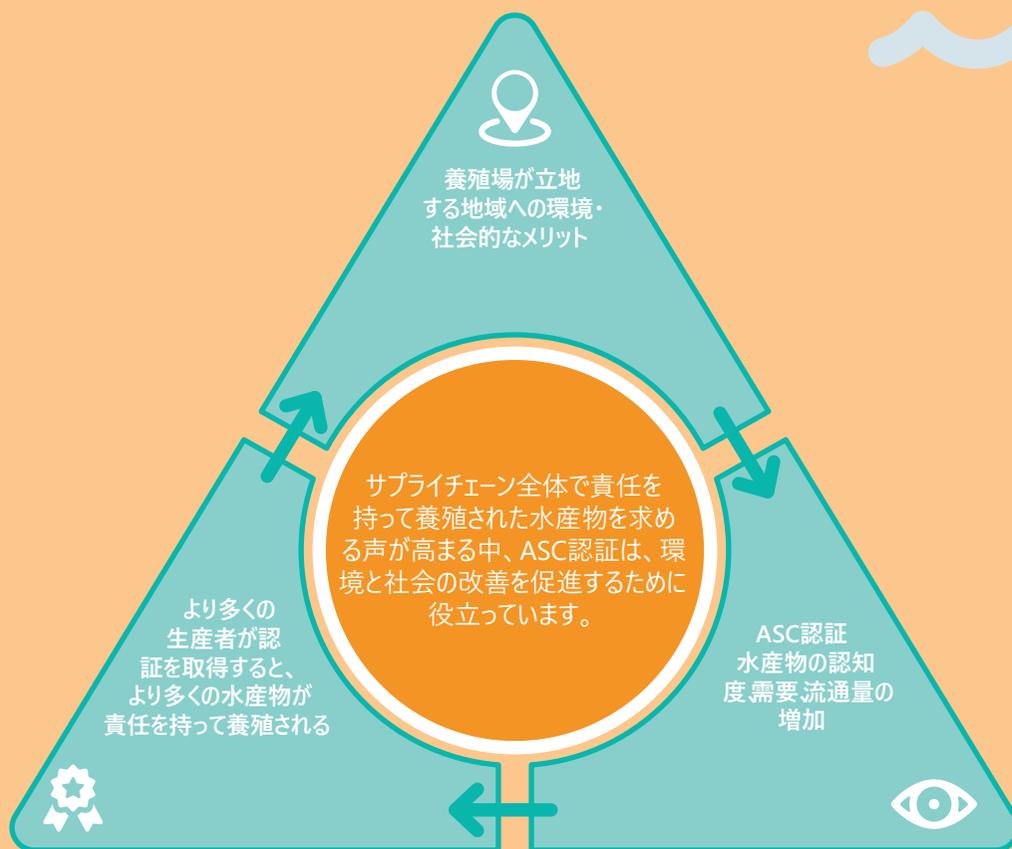
### 戦略

ASCの活動を評価する指標をモニタリングし、採用した戦略と、それがプログラムの保証と信頼性に与える影響を伝えます。



### 持続可能性

私たちは、環境、経済、社会の各分野の指標を現場でモニタリングすることにより、ASCが目指す成果を達成する能力を測定し、プログラムが関係者に与える影響を理解しています。



本レポートで紹介するストーリーや影響は、私たちが思い描く変革に向けたASCの2021年の活動を示しています。

ASC 認証による養殖方法の改善は、市場の需要を喚起し、認証された水産物の取り扱いを促します。したがって、ASCのマーケットベースのプログラムは、責任ある養殖による水産物を賞賛するインセンティブを生み出し、消費者が水産物購入の際に行う選択に影響を与えるように取り組んでいます。

## 国連の持続可能な開発目標

国連加盟国によって採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」は、17の持続可能な開発目標（SDGs）を定義し、急いで行動を起こすことを呼びかけています。世界人口の増加と食料安全保障への脅威の中で、急成長する水産養殖業界はSDGsの多くを達成するために重要な貢献をするポテンシャルがあると考えられます。

ASCは、17のSDGsとその中の169のターゲットに対するプログラムの直接的および間接的な貢献について、初めて評価を行いました。この分析では、SDGsの各ターゲットがASCの範囲に含まれるかどうか特定し、ASCのプログラムがそれらに対してどの程度貢献しているかを評価します。このレポートでは、SDG1とSDG14への貢献について簡単に説明します。詳細は[こちら](#)のレポートをご覧ください。

## END POVERTY IN ALL ITS FORMS EVERYWHERE



SDG1の7つのターゲットは、世界中のすべての人々の極度の貧困を撲滅することを目的としており、2030年までに貧困状態にあるすべての年齢の男性、女性、子どもの割合を少なくとも半減させ、すべての人に国ごとに適切な社会保護制度と措置を実施することを目標としています。

### 私たちの貢献

ASC基準は、適正な賃金、福利厚生、契約の透明性、差別のないことの従業員の権利や、地域社会の資源へのアクセスに影響を与えないことなどに厳しい要件を定めています。養殖場はこれらの要求事項を遵守していることを証明するため、公正な労働条件と労働権の適用を支援・維持し、貧困の削減に貢献します。ASCは、すべてのASC認証を取得した事業において、従業員がその労働に対して公正な報酬を受けられることができるよう、責任ある雇用を義務付けることを約束します。

### 付加価値

ASCは世界生活賃金連合（Global Living Wage Coalition）のメンバーとして、外部組織と協力して水産養殖業者における一般賃金と生活賃金のギャップを把握し、世界生活賃金連合のベンチマークを適用して世界中のすべての生産システムで従業員の生活賃金を確保するための仕組みを詳細に説明しています。

## CONSERVE AND SUSTAINABLY USE THE OCEANS, SEA AND MARINE RESOURCES FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT



SDG14の10のターゲットは、海洋資源の保全と持続可能な利用に関連する影響と情報のニーズを包括的に取り上げています。これらは、海洋汚染、水域生態系の管理、海洋酸性化、乱獲と違法・無報告・無規制漁業、沿岸地域の保全、小規模漁業者の市場へのアクセス、科学的知識と研究の増加の問題を網羅しています。

### 私たちの貢献

ASCのビジョンはまさにSDG14の中核をなすもので、環境への影響を最小限に抑えながら水産養殖が発展できる世界です。このことは、ASCの基準全体に、環境パフォーマンスの向上と説明責任に関する厳格な要件として組み込まれています。

環境パフォーマンスとアカウンタビリティの改善に関する厳格な要求事項があります。

養殖場は、基準要件への準拠を証明し、そのパフォーマンスを報告することにより、野生生物との相互作用の制限、保護された影響を受けやすい生息地での養殖場の配置、飼料原料における天然漁業の制限と責任ある調達、および資源の利用と漁具、栄養管理のベストプラクティスを通じて海洋資源の保護を確実なものにします。

ASC認証水産物の継続的な成長は、市場の需要に応えつつ、海洋への負荷を軽減します。

### 付加価値

ASC養殖場の継続的な開発は、環境要件を強化し、すべての生息地における養殖魚種と生産システムにおいて、一貫した基準の適用を保証する機会を提供します。ASCが現在立ち上げている養殖改善プログラムは、小規模生産者にとって認証制度が障壁とならないように配慮しつつ厳密性も保ち持続可能性を向上する道を提供しています。

ASCは、コンサベーション・インターナショナルとエクアドル環境・水資源省との協力のもと、マングローブ保全のために沿岸地域社会に直接的な経済的インセンティブを与える「ソシオ・マングラー」の設立を支援しました。ASCは、研究および資金提供者やサプライチェーンパートナーからの投資を通じて、この活動を拡大することを目指しています。



Seabream, Croatia





認証魚種

03



# 12魚種の養殖場認証基準により、多様な認証水産物を世界へ

ASCは、生産者、市場、およびすべての関係者と密接に協力し、私たちの基準がこれらのセクターで最高のパフォーマンスを示し、新たなニーズに対応できるようにしています。ASCは、12の魚種に特化した基準と、17の種にまたがる責任あるパフォーマンスを定義するASC-MSC海藻共同基準を維持しています。各基準はASCの基本原則に則り、養殖場は国内法および地域の規制を遵守し、生物多様性、生態系、野生個体群の保全、資源の有効活用、魚の健康状態の効果的管理、従業員の責任ある処遇、地域社会との関わりを確保しなければならないとしています。

2021年、オランダでASCカレイ目の魚類基準に基づく最初の養殖場が認証を獲得しました。私たちは、すべての基準において認証された養殖場が世界的に拡大し、より環境的に持続可能で社会的に責任のある水産物を消費者の手に届けることができるようになったことを祝福しました。

ここでは、2021年のASC認証生産の到達点を見てみましょう。





## サケ

養殖サケは世界で最も商業的に重要な魚種の一つであり、2020年には世界サケ生産量の80%近くを占めると言われている。ノルウェーとチリはASC認証サケ養殖場の大部分を保有しており、カナダ、フェロー諸島、スコットランドも重要な役割を担っています。

**549**

認証単位



**609**

ASC認証養殖場



**6**

ASC認証魚種



**1,416**

改善

**52.3%**

世界の水産養殖生産に占めるASCの割合



**1,685,570**

ASC認証取得トン数



**6,912**

消費者に提供したASC認証製品



ASC Certified Salmon

## エビ

エビは現在、世界で最も価値のある水産物として取引されています。養殖エビは世界のエビ生産量の68%近くを占め、その大半はバナメイエビ（*Penaeus vannamei*）の生産に充てられています。2021年、ASC認証を受けたエビの養殖場は主にベトナム、次いでインド、エクアドルでしたが、エビの養殖は世界の多くの地域で確立されており、最近ではヨーロッパ各地でも拡大しています。



ASC Certified Shrimp

**211**  
認証単位

**907**  
改善

**274,440**  
ASC認証取得トン数

**426**  
ASC認証養殖場

**2.8%**  
世界の水産養殖生産に  
占めるASCの割合

**9,714**  
消費者に提供したASC認証  
製品

**5**  
ASC認証魚種

## 2021年のASC基準を一望

	認証単位 (UoC) 件数	ASC認証養殖場数	ASC認証魚種	ASC認証取得トン数	世界の水産養殖生産 に占めるASCの割合	養殖場の改善	消費者向けASC認証 製品数
サケ	549	609	6	1,685,570	52.3%	1,416	6,912
エビ	211	426	5	274,440	2.8%	907	9,714
パンガシウス	34	43	1	115,393	3.9%	116	1,572
ティラピア	28	39	3	222,259	3.6%	55	339
スズキ・タイ・ オオニベ	41	56	4	59,074	8.6%	36	518
熱帯魚類	2	6	4	2,448	0.3%	17	6
淡水マス	58	82	5	47,551	6.1%	184	1,154
アワビ	14	49	4	2,351	1.0%	34	54
二枚貝	44	302	8	166,191	1.0%	56	822
海藻・藻類	17	17	8	587	0.0%	NA	NA
ブリ・スギ	13	18	5	4,471	2.5%	29	228

\*カレイ目の魚類は含まず、2021年に最初の養殖場が認証された。



ASCは、科学的に  
導き出された明確な  
指標に基づき、  
責任ある水産養殖の  
ための最も厳格な環境  
および社会的基準を  
設定しています。



Cromaris Farm, Croatia





# 04 社会と環境の改善への 取り組み

# 社会と環境の改善への取り組み

2019年から2021年にかけて、11のASC基準にわたって認証養殖場が行った改善は、基準不適合項目の削減または是正が特徴でした。

養殖場は時間の経過とともに改善すべき項目数が減少しており、認証サイクルの初期段階で最も大きな改善が行われていることがわかります。

ASC認証養殖場は、独立した認証機関により、ASC基準の法的、環境的、社会的要件に準拠していることを証明します。公開している審査報告書は、コンプライアンスと本質的な改善を証明するものです。ASC認証養殖場は、定期的なサーベイランス監査（年次監査）によってコンプライアンスと改善を証明し続ける限り、3年間認証を維持することができます。

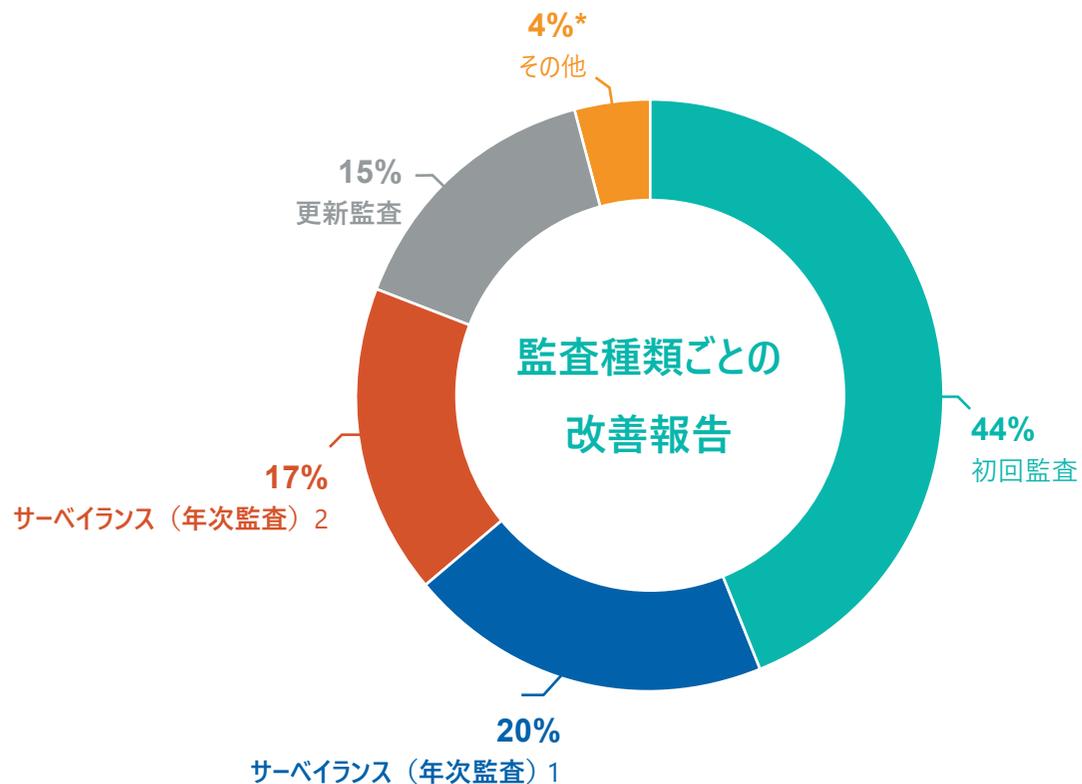
養殖場が要求事項を完全に遵守できない場合、改善する必要があります。2021年、987の養殖場（534の認証単位）は、改善がなされたかどうかを特定するために、認証サイクル全体にわたって十分なデータを有しており、そのうちの89%の認証単位は、一つ以上の改善がなされました。これは

業界に対して強いシグナルを送るものです。ASC基準は業界全体で最も優れた成果を上げている養殖場を認識する一方で、ASC認証プログラムを通して生産方法を改善し、その影響を軽減し続けているのです。この分析は、ASC認証によって推進される継続的な改善の一部を示していますが、ASCプログラムへの関与の結果、他のタイプの改善も発生する可能性があります。

## 環境・社会への影響

養殖場の改善は、ASC基準の7つの原則を通して測定される、持続可能で責任ある養殖事業を定義する厳格な要件を満たすために、養殖場の取り組みを示します。これらの改善は、ASCの要求事項が最も厳しいレベルを設定している一方で、これらが達成可能であることを示すものです。

サケとエビの養殖場の改善が最多ではありましたが、これらが2021年のASC認証養殖場の37%と26%を占めることを考えると、驚くことではありません。すべての養殖場において、魚の健康管理、従業員の福利厚生、周辺地域社会における社会的責任の改善が最も一般的な影響分野でした。



養殖場が ASC基準に準拠するために必要な改善は、認証プログラムに参加している期間が長いほど減少し、初回監査時には全体の 44%の改善が必要でしたが、更新認証時には15%に減少しています。

分析および手法の詳細については、本レポートの巻末に記載しています。

「その他」には、スコープ拡張、認証譲渡、フォローアップなどが含まれる。

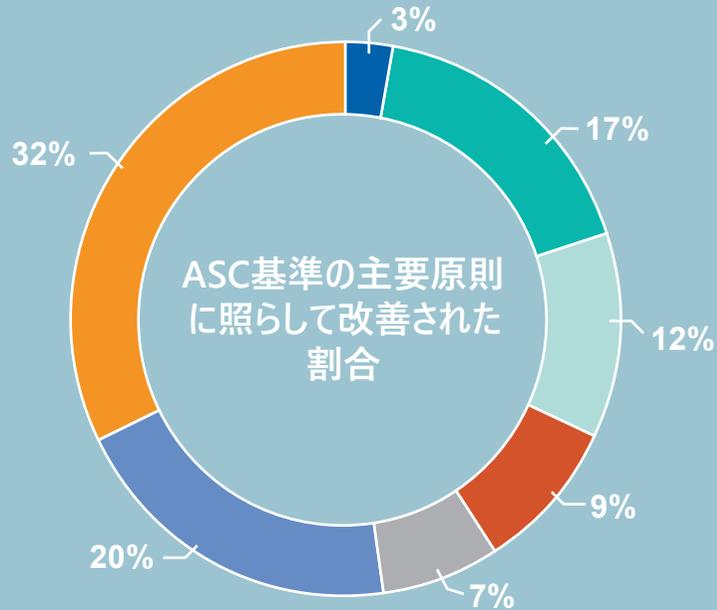
## 2021年、ASC認証養殖場は11の基準で2,780の現場の改善を実施

**65% (1800)**  
環境パフォーマンスの改善

**32% (893)**  
社会的責任に関する改善

**3% (87)**  
法令遵守の改善

## 法的、環境的、社会的持続可能性の原則



- 適用されるすべての国内法および現地の規制の遵守
- 野生個体群の多様性維持
- 自然の生息地、地域の生物多様性、および生態系の保全
- 抗生物質や化学物質を不必要に使用しないことを含む、魚の健康の確保
- 水資源と水質の保全
- 従業員や地域社会に対する社会的責任の確保
- 飼料やその他の資源の責任ある使用

ASCの持続可能性の原則のうち、**7項目すべて改善がなされました。**  
大半の改善は、**社会的責任と魚の健康**についての要件を満たすために行われました。



## 魚の健康管理

養殖魚の健康管理は、魚にかかる環境ストレスや寄生虫や病気の治療など、デリケートなプロセスです。改善点の4分の1近くは、サケジラミやその他の寄生虫の管理に関連するものでした。多くの場合、非化学的処理の適用、寄生虫管理計画の見直しと改善、同じ地域にある養殖場間での計画などが行われています。MowiとBakkafrostの認証に見られるように、およそ5分の1の措置が銅処理された網の使用を廃止することに繋がりました。



## 従業員の福利厚生

労働者の幸福は、労働者の権利、差別、紛争解決、現場での生活環境をめぐる問題に取り組んでいます。改善点の3分の1近くが、より安全な生活環境、安全で清潔な衛生設備、より綺麗な水の利用を可能にするものでした。養殖場は定期的な内部点検を実施し、賠償の手続きを作成し、労働者が施設の損害を報告するための仕組みを提供しました。また、約40%の改善が、研修、教育、差別撤廃をめぐる政策の改善を求めるものでした。



## 労働時間・残業時間

労働者の権利の重要な側面は、労働時間や時間外労働の乱用を避けるための公正なシステムを維持・適用することです。監査では、これらの要件が通常の労働時間だけでなく、収穫時などの繁忙期にも評価されていることが確認されました。これにより、様々な種類の労働時間に対して、敬意と公正な給与が提供されていることが確認されました。養殖場がとった措置により、シフト計画、給与の見直し、修正が改善されました。



Pangasius Farmer, Vietnam



## コミュニティとの関わり

資源へのアクセス、文化や伝統の尊重、地域コミュニティへの関与、紛争解決は、養殖場の社会的責任の基本的な側面です。地域コミュニティとの関係が改善されたことで、地域社会とのコミュニケーションや情報共有が進みました。ほぼ5分の1の取り組みにおいて、養殖場は参加型社会影響評価（pSIA）を完了または修正し、利害関係者との検証および結果の共有につながりました。新型コロナウイルスの感染拡大は、地域コミュニティへの関与に深刻な影響を及ぼしましたが、その後の改善により、バーチャルイベントや今後の会議の日程が決まり、改善の3分の1は、地域コミュニティの代表者との定期的な会議のプロセスを設定することになりました。



## 健康と安全

健康と安全の要件は、労働者が効果的な実践、手順、方針の訓練を受け、保護具を支給され、安全リスクの職場評価が維持されることを求めています。

安全な職場環境を作ることは、養殖場の従業員だけでなく、下請け業者も守ることにつながります。養殖場が行った改善は、下請け業者にも同様の改善を要求し、ASCの社会的責任基準の恩恵を養殖場の外にまで広げています。



## 廃棄物管理

責任ある廃棄物管理は、効果的な手順と方針が存在し、非生物学的廃棄物の適切な処分とリサイクルを実施した証拠を持ち合わせていることを保証します。改善点の3分の1は養殖場の化学廃棄物の管理、5分の1は廃液の処理に関するもので、その結果、スタッフのトレーニングの強化、施設や設備の修理や改善、廃棄物管理計画の改訂が行われました。

法的、環境的、社会的な持続可能性の要件に対して、各ASC基準を遵守するために、養殖場には是正措置が要求されます。

ほとんどのASC基準において、すべての主要原則に対して改善が見られました。

持続可能性の原則に対して、ある種の基準で改善を示すために必要なアクションの数が最も多かったのは、表中の緑色で示されたものです。

自然生息地の保護、生物多様性と生態系、社会的責任が最も多く改善された影響分野でした。

原則・基準	アワビ	二枚貝	淡水マス	パンガシウス	サケ	スズキ・タイ・オオニベ	ブリ・スギ	エビ	ティラピア	熱帯魚類
適用されるすべての国内法および現地の規制を遵守すること	0	0	5	7	41	1	1	27	5	0
自然の生息地、地域の生物多様性、および生態系の保全	<b>6</b>	<b>11</b>	10	<b>29</b>	<b>253</b>	<b>4</b>	<b>6</b>	<b>138</b>	4	<b>9</b>
水資源と水質の保全	0	0	<b>28</b>	10	140	2	<b>4</b>	133	<b>14</b>	1
飼料やその他の資源を責任を持って使用すること	3	<b>7</b>	4	16	81	<b>3</b>	2	<b>141</b>	6	1
野生個体群の多様性を維持すること	1	1	22	14	81	2	3	53	6	0
抗生物質や化学物質を不必要に使用しないなど、魚の健康を確保すること	<b>4</b>	1	<b>52</b>	<b>17</b>	<b>360</b>	2	1	106	7	1
従業員や地域コミュニティに対する社会的責任を果たすこと	<b>20</b>	<b>36</b>	<b>61</b>	<b>26</b>	<b>384</b>	<b>19</b>	<b>12</b>	<b>317</b>	<b>13</b>	<b>5</b>
<b>合計</b>	<b>34</b>	<b>56</b>	<b>182</b>	<b>119</b>	<b>1340</b>	<b>33</b>	<b>29</b>	<b>915</b>	<b>55</b>	<b>17</b>

ASC certified salmon and shrimp prepared





消費者への  
普及活動

05



# 世界各国から集まるASC認証水産物

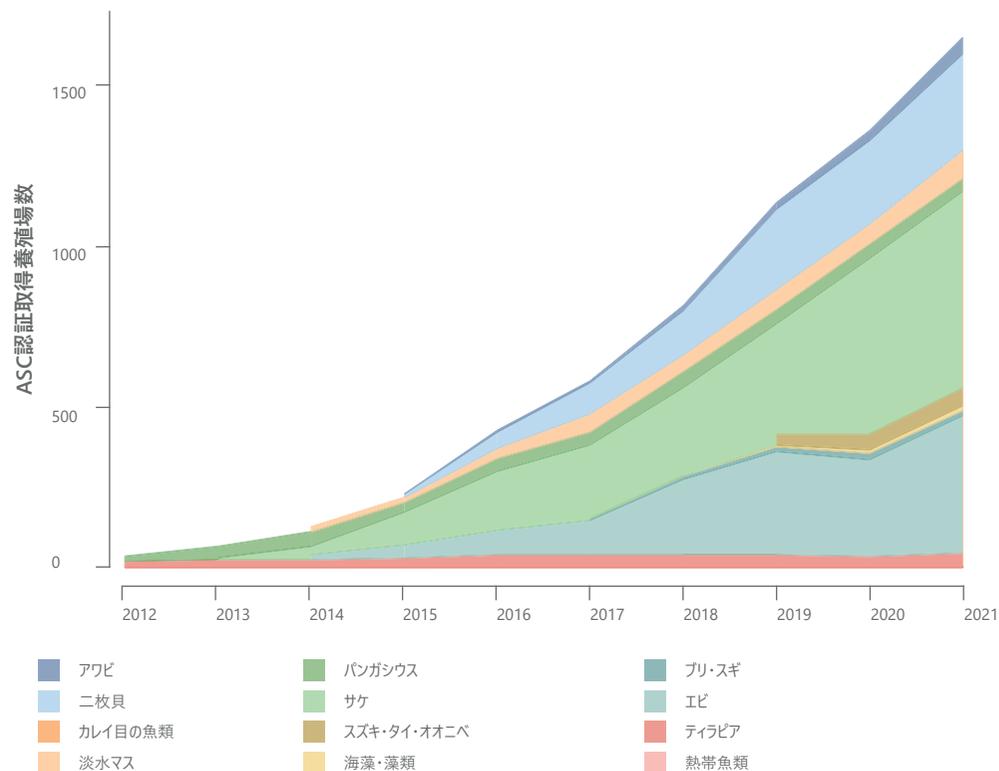
2021年、ASCで認証された養殖場の数が前年から20%増加し、ASC基準の社会的・環境的持続可能性の要件を満たす水産物の世界生産量が250万トンを超えました。

この生産量に貢献した主な国は、ノルウェーとチリ（それぞれ80万トン以上のサケ）、ベトナム（20万トン以上のエビ）、エクアドル（12万トン以上のエビ）で、ASC認証製品への需要増加に対応するために重要な役割を果たしました。

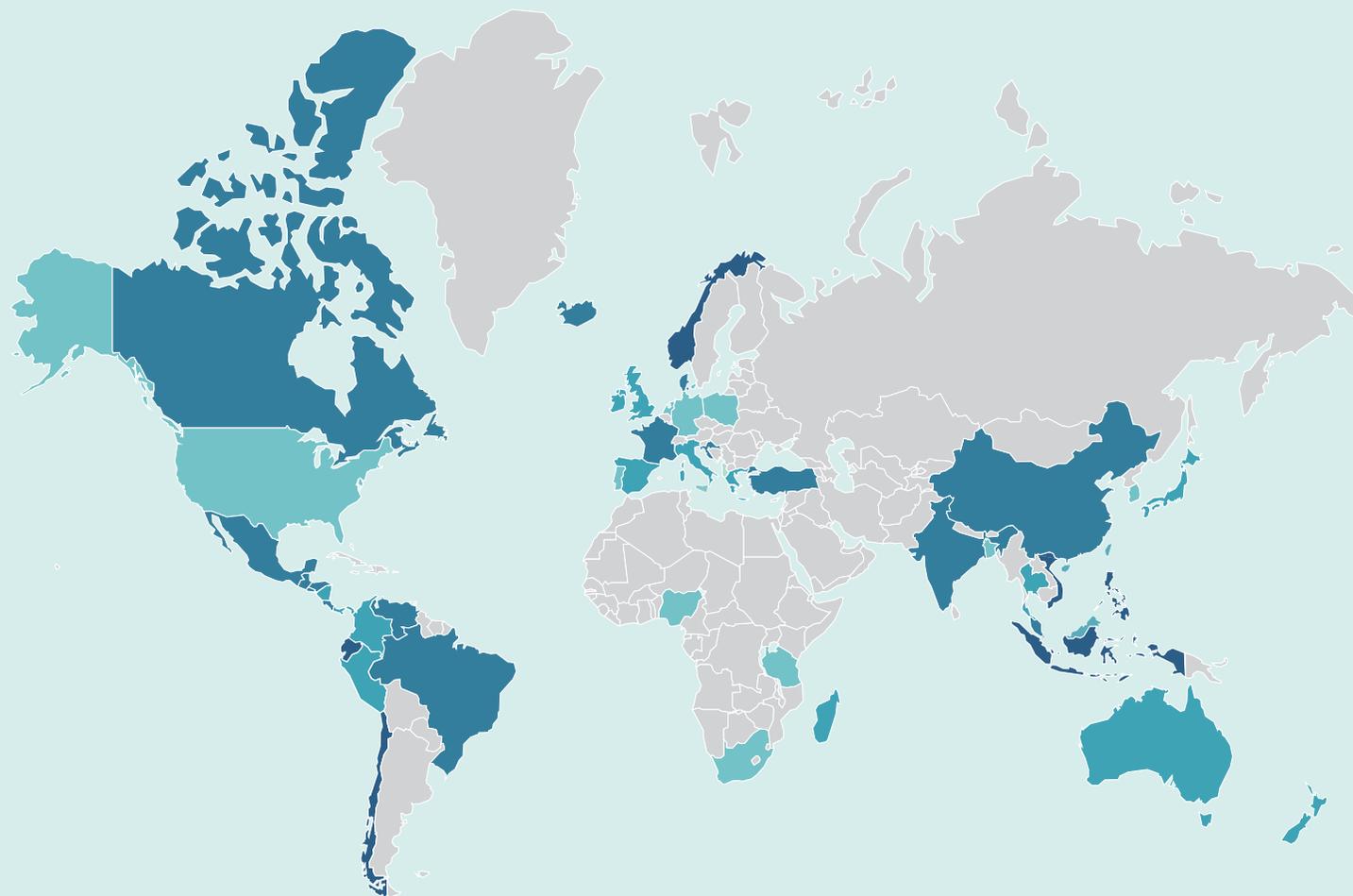
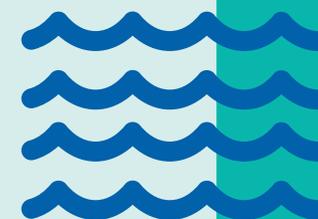
チリのサケ認証の伸びは、米国市場におけるASC認証水産物の需要増に対応したものであり、主要なエビ生産国であるエクアドルとインドの伸びは、米国と欧州市場の両方からの需要に牽引されたものです。

英国およびフランス市場向けのスコティッシュサーモンなど、他の生産国でも主要魚種の成長が続いています。新型コロナウイルス感染拡大の際に経験した物流・輸送上の課題を受けて、国内供給への関心が高まりました。これは、中国の二枚貝生産、韓国の海藻生産、日本の真鯛生産の成長によって証明され、後者2つはASC認証を取得して国内の小売店やブランドに地元供給を提供しています。

## ASC認証取得の10年間の成長



## 世界中で生産されているASC認証魚種



- 1 および <100
- >100 および <10,00
- >1,000 および <10,000
- >10,000 および <100,000
- >100,000 および <1,000,000

# グローバル市場におけるASCラベル付き製品



2021年末までに、ASC認証製品の入手可能性は前年比10%増となり、2万1千種類以上のASCラベル付き製品が消費者に届けられ、27万5千トン以上の製品が販売されるようになりました。

世界の小売市場は引き続き水産物への強い嗜好を示しており、サケとエビはASCラベル付き製品重量の70%を占め、マス、スズキ、タイなど他の重要な地域種への需要も高まっています。

西ヨーロッパの消費者、小売業者、ブランドは、従来から水産物を含む責任ある生産と表示のある製品に好意的でした。

ASCは、ドイツ、オランダ、ベルギーの主要な市場を引き続き重要視しています。フランスでは過去3年間に急速な成長を遂げ、2019年から2021年にかけて数量が倍増するほか、イタリア、スペイン、ポルトガルなどの南欧市場でもASCラベル付き製品が強く支持されていることが確認されました。

2021年は英米ともに重要な年であり、ASCへの嗜好を促進するために市場パートナーと協力し、主要種の認証供給を確保するためにサプライヤーと協力することに戦略が集中しました。英国ではスコットランド産サケ、米国ではチリ産サケとエビ（インドやエクアドル産など）です。

これらの市場は、責任ある養殖水産物の継続的な需要と成長のための強い潜在力を示しています。

米国市場ではラベル付き製品の数量が倍増し、米国が変化を促す重要な世界市場であることが示されました。

アジア（中国、日本）の重要な水産物市場において、持続可能な方法で生産された水産物の認知度は高まっており、それはASCが中国の主要な大規模小売業者やeコマースとの協力関係を確保したことによって実証されています。日本では、企業が国連のSDGsを認識することで、目標に貢献する手段としてラベル付き水産物の調達を加速していると考えています。これらの新しい市場は、ASC認証の継続的な成長と拡大のための機会を提供しています。

ASCラベル  
付き製品の  
50%は  
オランダ、ドイツ、  
フランスで消費  
されています。



## サステナビリティへのコミットメント

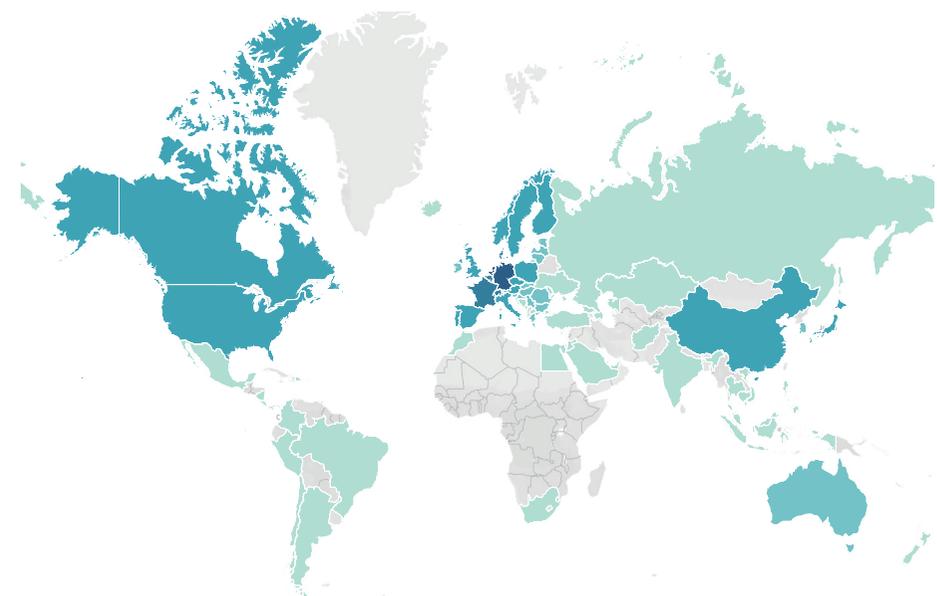
ASCは中国の小売パートナーであるOléスーパーマーケットと協力し、ASCラベル付き製品を調達するOléのコミットメントを示す消費者向け販促資料を作成しました。また、Olé社とASCは、中国の消費習慣に適応し、持続可能な水産物ムーブメントへの参加を向上させるため、ASC認証を受けた中国の水産物のスーパーマーケットでのサプライチェーンの構築を支援しました。

## サステナビリティの旅

ASC認証の真鯛（*Pagrus major*）は、株式会社ダイニチ（ASC00225）から出荷された活魚を卸売業者が調理し、飲食店に新鮮な状態で納品する豊洲市場にて販売されています。



## 世界中の消費者が利用できるASCラベル付き製品



1 および <50   >50 および <250   >250 および <1,000   >1,000 および <2,500   >2,500 および <5,000



**2,706**

2021年のCoC企業の  
認証数



**91**

ASCラベル付き製品が  
見られた国の数



**275k**

2021年に販売された  
ASCラベル付き製品の  
重量（トン）

# ASC認証水産物の認知度、価値、需要の向上

ASCの企業向けコミュニケーションの成功は、目に見える市場の成長をもたらす。養殖場の生産量増加につながっています。ASCは今、消費者層とのエンゲージメントに焦点を当てたクリエイティブな取り組みを強化しようとしています。

ここ数年、ASCはマーケティングとコミュニケーションを戦略の重要な柱として、さらなる投資を続けてきました。その目的は、ASCに対する消費者の認知度をこれまで以上に高め、先進国市場と発展途上国市場の両方において消費者の需要を促進することです。オランダのようないくつかの成熟した市場では、ASCブランドの認知度向上が、他のラベルよりもASC製品の購買意欲につながるがすでに証明されています。認知度の向上は、成熟市場でも発展途上市場でも、多くの戦術と手法を通じて達成されます。そのためには、地域や世界のオーディエンスに響くような、ASCの重要な価値観に関する明確なメッセージを、しばしば期間限定、地域限定のキャンペーンや継続的な企業コミュニケーションを通じて発信することが必要です。

キャンペーンは強力なエンゲージメントの機会であり、大きなインパクトを生み出します。

イベント、コンペ、プロモーション、試食会などを開催し、消費者参加型の教育的で楽しいキャンペーンを展開しています。2021年に中国、日本、米国、英国で実施されたキャンペーンでは、ASCに対する市場の注目が高まっていることを受け、小売店の協力を得ることができました。ヨーロッパ市場では、オランダで84%、フランスで60%の小売業者の市場シェアを獲得し、メディアやSNS、店頭でのコミュニケーション、小売業者のカタログや雑誌、オンラインイベントを通じて12億人以上の視聴者のインプレッションを獲得しました。

2021年における私たちの活動は、ASC認証水産物の需要拡大を示唆する素晴らしい結果をもたらす、強固な基盤作りに貢献しました。私たちのキャンペーンは世界中で数多く行われていますが、ここに挙げた例は、より責任ある養殖生産へのインセンティブを高めるために、企業や消費者との関わりにおいて、その活動の深さと幅広さを浮き彫りにしています。

2021年には、230を超える営利・非営利のパートナーと協力することで、消費者が自分の選んだ水産物が、将来の世代のために魚と環境を守ることに貢献できるようになりました。

## ASCは、パートナーとのコラボレーションを通じて、消費者の認識を促進します。

オーストラリア・キャンペーンは、消費者にとって責任ある養殖水産物の重要性が高まっていることを受け、サステナブル・シーフード・アワードの開催とともに開始されました。

タロンガ動物園から生中継され、ASCは受賞者-KB Food CompanyとBidfoodを祝福しました。KB Food Companyは、ASCのベスト・レスポンスイブル・シーフード・アワードの「ベスト・プロダクト賞」、Bidfoodは、ASCの「ベスト・シーフード・インポーター賞」を受賞しました

**WINNER**  
THE 2021 LIFETIME  
ACHIEVEMENT AWARD  
★★★★★  
THE SUSTAINABLE  
SEAFOOD WEEK  
AWARDS 2021



## メディアプラットフォームを通じた関与

私たちは、私たちのミッションをさらに推進するために、主要なオーディエンスにコンテンツを提供する新しく革新的な方法を常に模索しています。そのために、SNS、印刷物、オンライン・メディア、ウェブサイトを通じて、話題性のある魅力的なコンテンツを次々と開発しています。

LinkedInのユーザーとのエンゲージメントを最も高めたトピックは、基準の改善に関するアップデート、ASC認証を取得した養殖場、水産養殖におけるイノベーションなどで、2021年には40万件のインプレッションを獲得しました。

InstagramとFacebookでは、レシピのアイデア、「真実か都市伝説か」、ASC認証養殖場とそこで働く人々の物語を紹介しました。ASCのFacebookのフォロワー数は、全世界で14%増加しました。

ASCのグローバルウェブサイトは安定したトラフィックを獲得し、認証養殖場、サプライヤー、レシピ、基準に関する情報は、サイト訪問者の間で最も関心を集めました。

オンラインメディアでは、ASCは2,800件以上の言及を受け、大多数が肯定的にASCを取り上げましたが、一部中立的、あるいは若干の否定的な言及もありました。

私たちは、このようなグローバルなコミュニケーションチャンネルにおいて、すでに強固な基盤を構築しており、今後数年間でさらにこの活動を強化することが期待されます。私たちは、ASCの成長とともに、ASCへの露出と関心が高まることを期待しています。私たちは、ASCの既存のフォロワーに適切で興味深いコンテンツを提供しながら、新しいオーディエンスにリーチし、エンゲージするために、今後の挑戦を楽しみにしています。



## 関係性の構築

2021年、ASCは米国で「New Way to Seafood」を立ち上げ、ASCラベルの価値を高めることに焦点を当てた全米消費者マーケティングキャンペーンを成功させました。

グローバル・サーモン・イニシアチブ、シーフード・ニュートリション・パートナーシップ、SSP、MOWIなどの献身的なパートナーは、今後数年間、このキャンペーンを成功させるために不可欠な存在です。

## Bewuste Visweek | Think Fish Week

オランダでは9年連続、ベルギーでは7年目となる共同マーケティングキャンペーン「Think Fish Week」は、ASCおよびMSC認証のインパクトとパートナーシップの価値を示す、私たちの養殖場のストーリーを強調した取り組みです。このキャンペーンは、複数のプラットフォームで視聴者を巻き込んでいます。地元の料理研究家と協力し、我々のラベルが環境や養殖、地域社会に与える影響に関するストーリーを、認証水産物を使ったレシピと組み合わせ、消費者に「a good story on your plate」（お皿の上の良い物語）を提供しました。



## 一緒に、より強く



2021年、ASCは海洋管理協議会（MSC）と協力し、3大陸8カ国で5つの消費者キャンペーンを実施しました。平均すると、人口の11～22%が、8カ国すべてでキャンペーンを見たり、読んだりしました。

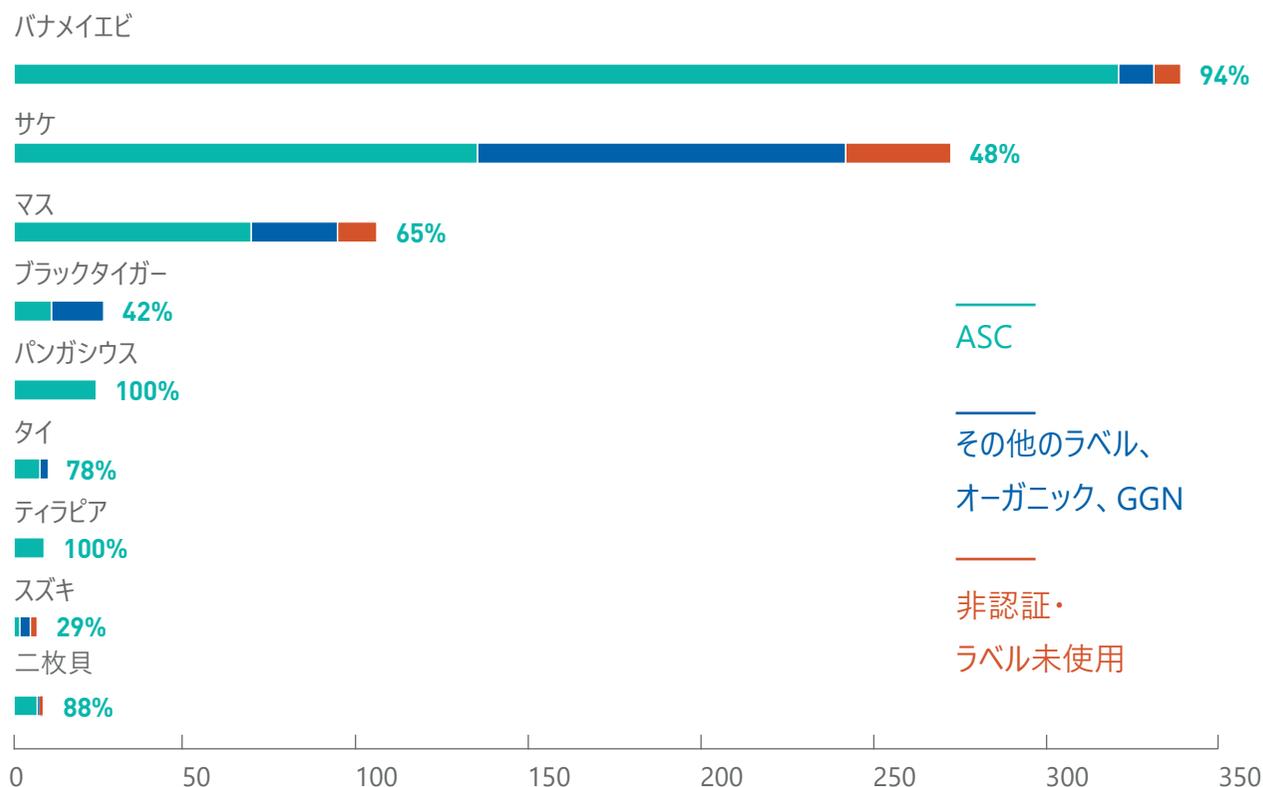
キャンペーン後の消費者調査では、ASCラベルに対する消費者の認知度が6%も向上していることが確認されています。



## ドイツ市場におけるASC認証商品への高い需要は、ASCへの高い信頼の証

2021年、ドイツの小売業者における養殖水産物の供給について、責任ある調達を理解するために市場分析が行われました。9つの小売業者でレビューされた809の製品のうち、72%がASC認証を取得しており、持続可能性を示すラベルが付随していないものはわずか7%でした。このことから、ASC認証水産物はいずれもドイツの小売業者全体の商品範囲を代表するものであり、ASCラベルが強く好まれていることが明らかになりました。

### ASCラベル付き製品と他の製品の数の種ごとの比較



“今”だけでなく、“次世代”にも十分な魚を提供すること。それが私たちの大きな目標です。“Think Fish Week”は、その実現に向けて、顧客の意識を高めることに役立ちます。

Ruth Broekaert,  
ALDI ベルギー  
Corporate  
Responsibility  
Director





# 06 誠実な制度で あるために



## 誠実な制度であるために

プログラムアシュアランスは、ASC基準が効果的に実施され、監査されていることを関係者に確信させるものです。

ASCの保証プログラムは、私たちのラベルに付随する主張に対する信頼を顧客とステークホルダーに提供するための包括的なアプローチによって達成されています。

ASCは、認定機関であるアシュアランス・サービス・インターナショナル（ASI）と連携し、ASC基準とMSC Chain of Custody、そしてロゴライセンス契約への準拠について、申請から認証取得までの業務を綿密に監視しています。

ASCはASIとともに、リスクベースのアプローチを採用しており、プログラムの完全性が維持されるよう、養殖場と認証機関のパフォーマンスを評価するために、毎年のパフォーマンス目標を設定しています。2021年に実施された審査は、定められた目標の92%をカバーしました。

審査は、リスク軽減のための包括的なアプローチを実現するために、認証機関のパフォーマンスを評価するための設定された目標にわたって実施されます。養殖場、認証機関のパフォーマンス、または認証の完全性が損なわれる可能性がある場合、ASC、ASI、またはステークホルダーは、さらなる調査のためにインシデントを提起し、審査プロセスを通じて評価することもできます。2021年は新型コロナウイルスによる渡航制限のため、現地での評価は制限されました。

しかし、遠隔での監査が可能になったことで、適合性評価期間と養殖場は、認証の失効を回避することができました

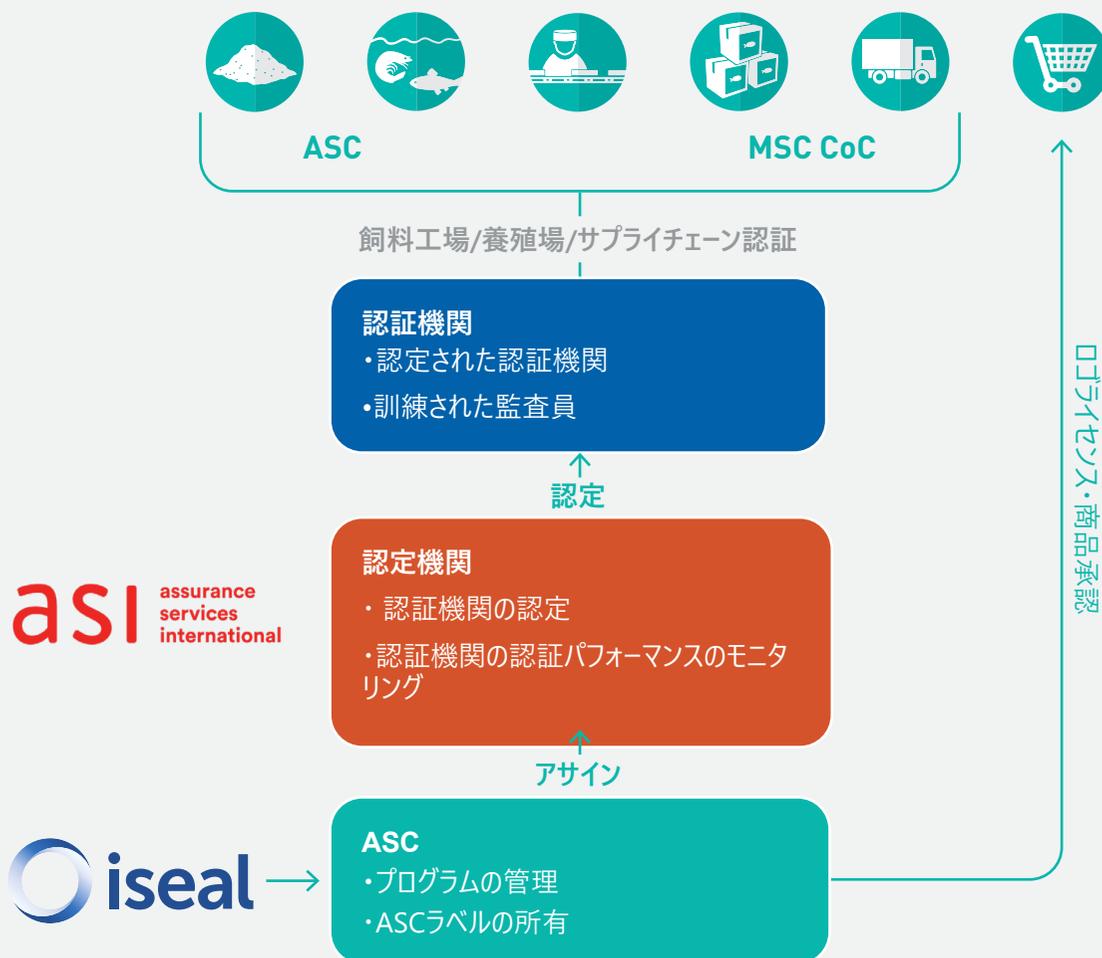


“2021年の間、ASIは最高の信頼性を示し、ASCスキームの堅牢性を確保するためにインパクトのある活動を行うというコミットメントを維持しました。認証機関のパフォーマンスは、引き続き良い方向に向かっていきます。”

Francisco Padilla,

ASI's

ASC プログラムマネージャー



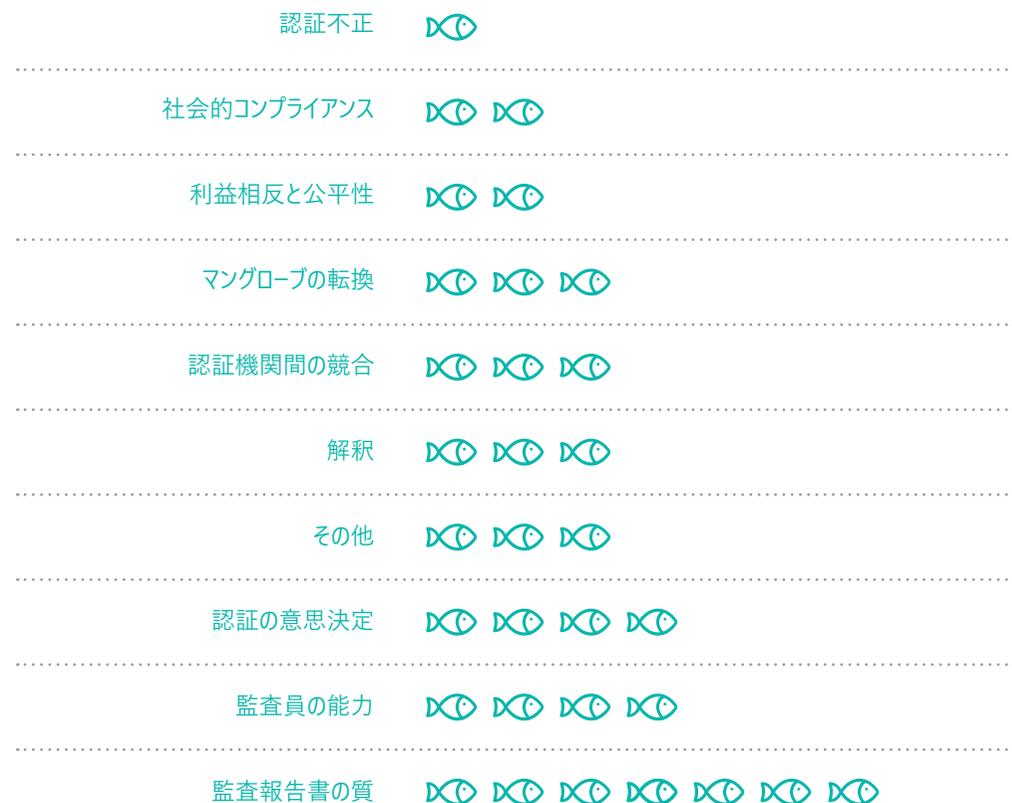
ASCは、認証単位とトレーニングを受けた監査員に対する認証と認定の要求事項を策定、維持、実施しています。ASCは、ISEALの保証規定が求める実務を遵守し、認証養殖場、サプライチェーン関係者、認証機関が要件を遵守していることを保証する仕組みを構築しています。審査は、認定機関であるASIが認定した認証機関によってのみ提供することができます。

ASCの厳格さを維持するために、ASCは第三者認証制度を活用しています。独立した認証機関は、養殖場とサプライチェーンの関係者を基準要件に照らして審査し、認証を付与します。

2021年、プログラムに参加する認証機関の数は14となり、ASCの厳しい環境・社会的要件に照らして世界中の184人の監査員が、養殖場を審査しました。

2021年には、  
定義された目標エリア  
と案件に対応し  
認証機関パフォーマンス  
の67のアセスメントが実  
施されました。  
評価によっては、複数  
のパフォーマンス目標を  
達成することがありま  
す。

## 2021年に取り上げられたインシデント



インシデントは、公開監査報告書、ステークホルダーからの意見、サプライチェーン報告書、認証機関のパフォーマンス評価、製品量報告書からの照合など、リスクベースのレビューを通じて積極的に特定されています。2021年には、さまざまなテーマで提起された32件のインシデントにより、15件のアセスメントが実施されました。一部のインシデントは、アセスメントを実施せずに解決されました。

## 2021年にリスク領域に対するアセスメント実施

抗生物質使用	1
養殖場設置のリスク	3
マルチサイト監査	3
新基準	3
社会的リスク	5
チリで養殖されたサケ	7
リモート監査	10
無作為抽出監査	10
アジアのエビ養殖場監査	15
ASIの立会のない監査	15
机上レビュー	15
インシデント	15

ASIは、年間目標設定により特定されたさまざまなリスク領域において、認証機関のパフォーマンスに対する評価を実施しました。これらの評価は、新規監査員、マルチサイト監査、社会・環境リスクの高い種や地域の評価など、さまざまな状況下での認証機関のパフォーマンスを評価するものです。

認証機関は、適合した製品のみがASC認証としてサプライチェーンに入ることを保証し、養殖場認証の枠を超えた重要な役割を担っています。ASCの透明性への取り組みにより、養殖場の認証状況に変化があった場合は、すべて公に報告されます。多くの場合、認証保持者はコンプライアンスを損なう問題を自己申告し、自主的に認証の取り消しを選択します。

認証機関も同様に、認定の喪失や停止といったリスクを抱えながら、高い水準に置かれています。2021年には、ある認証機関がASCの手続きで定められた期限を守ることができず、一時停止処分を受けました。しかし、改善されたプロセスによって和解が成立し、その後、一時停止処分は解除されました。ASIは、継続的なコンプライアンスを確保するため、活動を継続的に監視しています。

## 2021年における認証の一時停止または取り消し

2021年には、28件の認証が一時停止または取り消され、そのうち9件は自主的に行われました。8件の認証では、養殖場が不適合を是正するための効果的な行動を取ることができず、7件の養殖場では抗生物質使用の許容量を超えてしまい、また2件の底生生物の要件が遵守されず、2件の監査が不合格となりました。

## 安全で信頼できる サプライチェーン

水産物に対する需要の高まり、その価値の高さ、複雑なサプライチェーンに伴い、不正のリスクは現実に存在します。ASCのロゴライセンス契約（LLA）は、認証された養殖場からの水産物を使用した製品にASCラベルを使用することを許可しています。サプライチェーン上のリスクにより認証製品の完全性が損なわれた場合、ASCは契約を取り消すことができます。

ASCが開発した保証サービスは、革新的な技術の使用によりリスクに対処しています。微量元素フィンガープリンティング（TEF）は、既知のサンプルのデータベースと製品を比較評価することにより、製品の供給元養殖場へのトレーサビリティを可能にします。

動植物の微量元素のパターンは、土壌、地質、地下水、周辺環境、原産地の利用可能な食物から微量元素を取り込むことにより、原産地を反映しています。このため、輸出市場や小売製品から採取したサンプルを既知の基準と照合し、そのサンプルの原産地を特定することができます。

TEFは、養殖工場で95%以上の精度で、ASC認証水産物の原産地を確認するのに有効であることが証明されています。ASCはTEFの適用を拡大するため、ベトナムとインドのASC認証工場養殖場、およびチリのASC認証サケ養殖場に参照サンプルを拡大しています。

“透明性は、当社のサステナビリティ戦略において重要な役割を担っており、私たちは、サステナビリティの目標達成には、その進捗状況を評価する必要がありますと理解しています。ASCは、そのための信頼性の高い方法を提供しています。

私たちは、この認証をベンチマークとして選択することで、私たちが責任ある方法で事業を行い、同時に高品質の製品を提供しているという安心を、お客様や社会一般に提供する機会を提供することができますと信じています。”

Ventisqueros  
グローバルサーモンイニシアティブ (GSI) メンバー

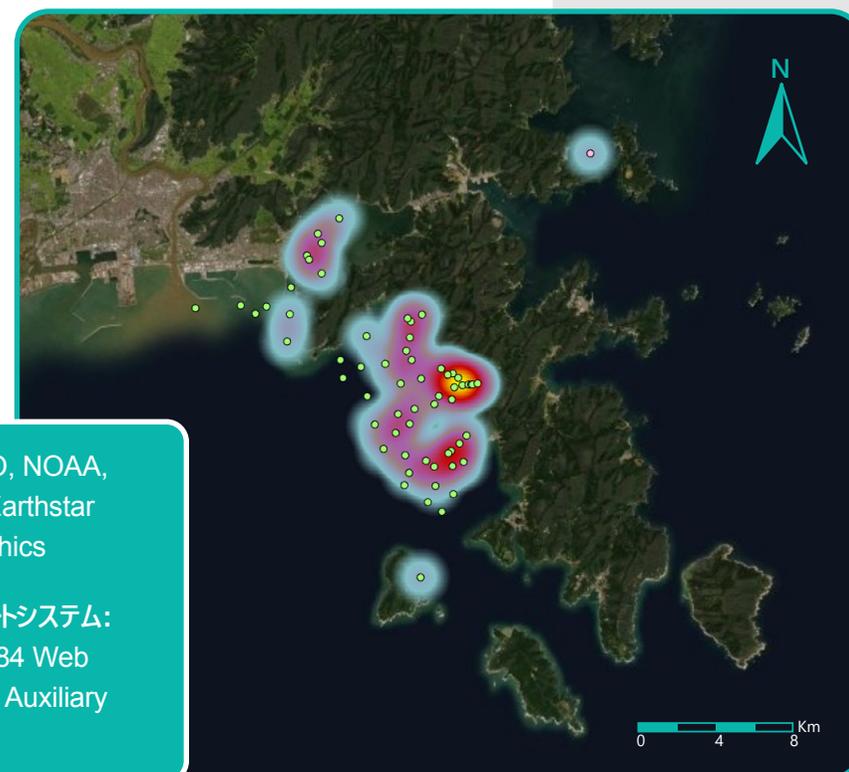
# 地理空間データが養殖事業に安心を与える

ASCは、養殖場が周辺の生息地や生物多様性、生態系、地域コミュニティに大きな悪影響を与えないよう、厳格な立地条件を定めています。しかし、どのようにしてそれを保証しているのでしょうか。

ASCの地理情報システム（GIS）プログラムは、正確な位置情報を提供することで、認証養殖場の位置と境界線から得られる情報を重要な保証と分析機能に利用しています。過去のマングローブ林の面積、保護区、生息地の種類、先住民の権利地域など、一般に公開されているデータ層と養殖場の位置に関するデータを分析し、ASCの養殖場が自然環境と地域コミュニティへの影響を最小限に抑えることを確認することができます。

ASCのGISポータルは、生産者、認証機関、および様々なステークホルダーのためのサポートと情報を提供しています。より正確な位置情報を収集すれば、空間分析によって、世界における養殖の役割を解釈する方法が広がり、責任ある操業の重要性が再確認され、ASC認証生産がもたらす影響を実証することができます。

この画像は、日本国内のASC認証養殖場（二枚貝養殖場62箇所、サケ養殖場1箇所）が保護区に指定されている密度を示しています。





Salmon Farmer, Norway



# 07 ステークホルダー との連携

# ASCと主要なステークホルダーとの関わり



ASCの基準と認証制度は、元々広範なステークホルダーとの対話を通じて開発され、確かな科学とともにステークホルダーの優先事項を理解し反映しています

プログラムの改善にあたり、ASCはステークホルダーの声に耳を傾け、世界最高の養殖認証プログラムであり続けることを約束します。ASCは、養殖業が環境と社会に与える主な悪影響を軽減するためのコンセンサスを求め、私たちのプログラムがすべてのステークホルダーによって支持され、実施されるよう、対象を絞った取り組みを行っています。見解と利害のバランスを保つため、すべてのステークホルダーが、協議を通じて、また私たちのガバナンスシステムにおける代表として、意見を提出する機会を持ち、プログラムの妥当性と有効性に貢献できるようにします。

ASCは、すべての基準改定と主要な保証システムの改善について、利害関係者にフィードバックを提供するよう呼びかけ、パブリックコンサルテーションを行っています。ASCは、コンサルテーションのたびに、ステークホルダーグループ、国、養殖事業の種類や規模を問わず、代表者が確実に参加できるように目標を設定しています。2021年、ASCは4つの主要なプログラムの改善についてパブリックコンサルテーションを実施しましたが、私たちは様々な種類・規模の生産者から幅広く意見を汲み取ることを目標にしています。



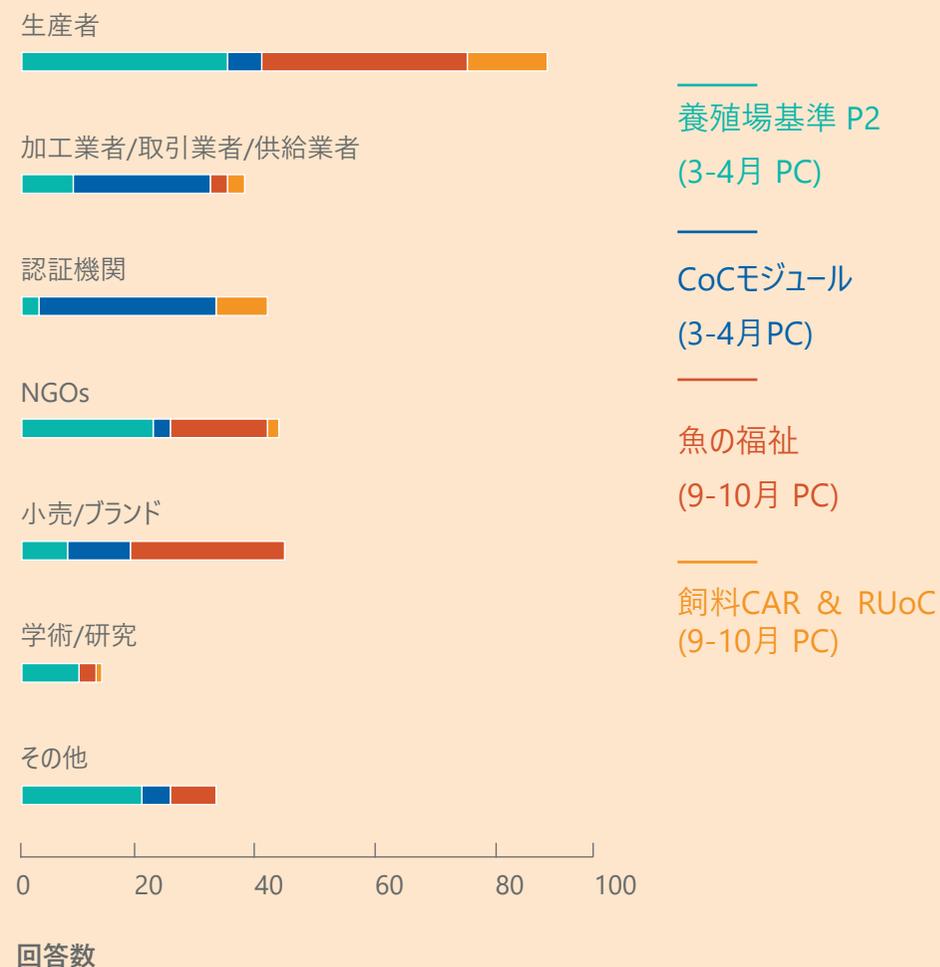
ASCはISEALコードに準拠しています。ASCのシステムは、ISEALのCodes of Good Practice（効果的で信頼できるサステナビリティシステムのための世界的に認められたフレームワーク）に対して独立した評価を受けています。詳しくは、[isealalliance.org](http://isealalliance.org)をご覧ください。

2021年に行われたASCのコンサルテーションでは35カ国のステークホルダーからフィードバックを得ました。

### すべての人の声を聞く

私たちはその方法を継続的に改善することを目指します。パブリックコンサルテーションは、リソースが許す限り、特定されたステークホルダーが使用する主要言語に翻訳されます。オンライン調査、ワークショップ、会議、現地スタッフとの1対1の対話、オフラインでの調査票の提出、電子メール、手紙などの手段で意見を求めています。アンケートは、参加者が自分に関連するトピックや質問に焦点を絞れるよう、フィルターを使用しています。各パブリックコンサルテーションの後、ASCはエンゲージメントをモニターし、採用した方法を評価し、改善点を特定し提供します。

ASCは、2021年のパブリックコンサルテーションにおいて、すべての主要なステークホルダーグループからフィードバックをいただきました。回答数はトピックによって異なりますが、1回のパブリックコンサルテーションで29から110の回答がありました。回答は、個人、組織、または多くの業界を代表する大規模な協会からのものです。ASCは、ステークホルダーの代表性を十分に理解するために、回答者の情報とともにフィードバックを評価し、エンゲージメントの全体像を把握します。



## 2021に実施したコンサルテーション



### ASC飼料基準

原則 2 は、養殖事業が環境に与える影響の緩和に特化した基準です。これは、魚の健康、生物多様性と生態系の保護、飼料、水、エネルギーなどの資源の効率的な利用、廃棄物と関連汚染物質の処理に対する養殖場の影響を考慮したものです。

ステークホルダーは、指標言語、データ要件、および養殖場の継続的な工場のための草案についてフィードバックを求められました。



### CoCモジュール

ASCは、世界のベストプラクティスを反映し、テクノロジーの活用によるイノベーションを取り入れた、新しい一連の保証活動とツールの開発を進めています。

このモジュールは、MSCのCoC（Chain of Custody）基準に追加されるもので、水産物偽装、食品安全、抗生物質など使用といった新たな問題に対応します。この追加要件は、管理された環境や人為的な投入物など、養殖魚と天然魚の生産における固有の違いから必要とされているもので、関係者から広く意見をいただきました。



### 魚の福祉

ASC の魚の福祉プロジェクトは水産養殖が養殖水生動物の福祉に与える主な影響を特定し、ASCの養殖場基準のための新しいベストプラクティス指標を開発することを目指しています。

その目的は、ASC の既存の基準にある現在の指標を、現在 ASC の適用範囲にあるすべての種にわたり、より包括的なベストプラクティスの集合に拡大することです。このコンサルテーションは、水質、飼育密度、締めの問題をカバーする業界の発展と研究を活用し、養殖魚の福祉を第一に改善するための要求事項案を検討しました。



### 飼料CAR & RUoC

飼料基準認証・認定要件（CAR）および認証単位要件（RUoC）は、飼料工場の認証プロセスを最初の申請から監査プロセス、認証決定までフォローし、サーベイランスと認証の要求事項を強化するように構成されています。

これらの飼料の補足文書は、統一性を確保するために養殖場のCARおよびRUoCと連携しており、特定の飼料基準の要求事項を実施するために必要な場合にのみ例外が許されます。このコンサルテーションは、飼料基準の要求事項を補完する飼料RUoCの文書と新しい要素を評価する機会を提供し、飼料工場に一貫したアプローチをもたらします。

## ステークホルダースポットライト: グローバルサーモンイニシアティブ (GSI)

### 10年以内に0%から60%へ - GSI会員企業のASC導入が軌道に乗る

2013年にGSIが発足した際、各社は「2020年までに全メンバーの養殖場でASC認証を100%取得する」という野心的な目標を掲げました。多くの人が達成不可能と考えた目標です。しかし、GSIは、サーモン業界全体の環境改善を推進するためのCEOレベルのプレコンパティビリティイニシアチブとして、努力を結集し、「Business as Usual」を超えた進歩のための枠組みを確立し、業界のサステナビリティ・パフォーマンスの改善において測定可能なインパクトを与えるために、このような野望を掲げました。

2013年にASC認証養殖場がゼロだったGSIメンバーは、その後、2022年9月現在、GSIメンバーの生産量の60%でASC認証を取得しています。2021年には、GSIの生産者だけで60万トンを超えるASC認証サケが市場に出回ることになり、その数は増え続けています。

この目標を達成するため、GSIはASCタスクフォースを設立し、毎月会議を開催しています。このナレッジシェアリングプラットフォームは、基準や監査プロセスに関する共通の質問を共有する機会を提供し、最も重要な点として、ASCの厳格なパフォーマンス基準を満たす方法についてベストプラクティスの共有を通じて問題をまとめて解決しています。各メンバーは認証取得に向けて独自の道を歩みますが、GSIは、各社がバラバラに活動するよりも、より迅速に環境改善を行うために、各社を統合し、サプライチェーンと連携する方法を促進します。

ASC認証への対応は大きな投資であり、対応すべき要件も多岐に及ぶが、メンバー企業は、基準をよりよく理解し実践することで、環境と社会の持続可能性のパフォーマンスを改善し、さらに長期的な利益をもたらす業務効率も向上することを実感しています。

過去10年近くにわたるGSIの活動は、認証を通じて実現し得る長期的な影響を強化するための資産となっています。世界の養殖サケ部門の40%以上を代表する共同体として、またASCの主要なステークホルダーとして、GSIは、魚の福祉から従業員の権利、近隣住民、周辺生態系の保全まで、事業のあらゆる側面において責任ある生産におけるベストプラクティスの確立に貢献しています。GSIは、ステークホルダーの関与の根拠となる透明な枠組みを提供し、効率的で責任ある養殖方法への共通のコミットメントを示すことで、養殖業をリードしてきました。

“GSIにとってサステナビリティは静的なものではなく、ASC基準は、継続的な改善という共通の信念と、生産、飼料、福祉、気候など、業界のあらゆる要素を網羅する進化した要求事項により、業界が継続的により良い方向に進むための建設的な挑戦の一助となると確信しています。そして私たちは挑戦し続けます。”

Sophie Ryan

GSI エグゼクティブディレクター







# 08 協働を何よりも大切に

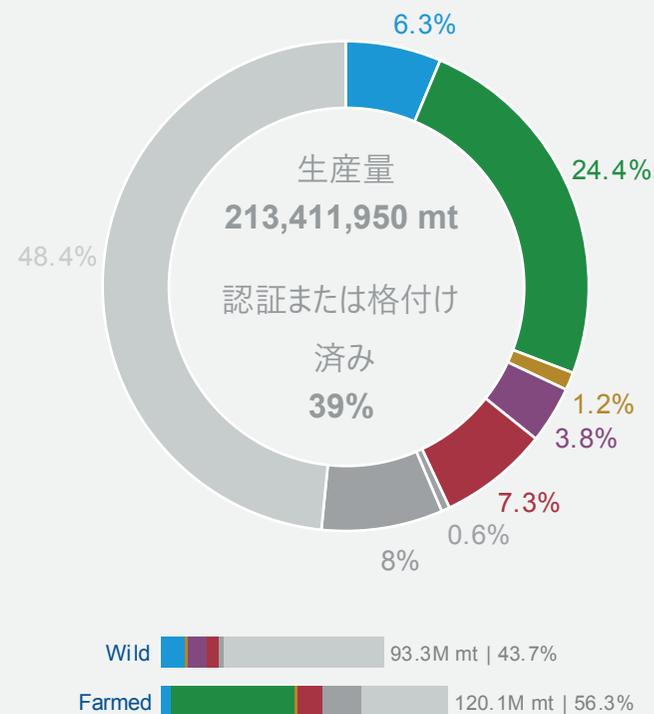


# 協働を何よりも大切に

ASCは常に、世界の養殖業界が直面する課題は、同じような考えを持つ組織との密接なコラボレーションによって、より効果的に取り組むことができると考えています。長年にわたり、ASCは大小のプロジェクトにおけるコラボレーションを通じてこの分野の仕事に貢献し、2021年を通して進歩を続けてきました。

ASCのCEOであるクリス・ニネスは、認証と格付けのコラボレーション（Certifications and Rating Collaboration）の議長を引き続き務めており、これは、より多くの水産業者が環境の持続可能性と社会的責任に向けた明確な道を進むよう、ツールを調整し、その影響力を高めるために協力している世界5つのプログラムを統合しています。2019年、このコラボレーションは、コラボレーションメンバーによって格付けされ、認証された世界の水産物のスナップショットを提供する、持続可能なシーフードデータツールを開始しました。

このインタラクティブなツールは、6つのグローバルな認証および格付けプログラムによる水産物生産に関するデータを統合し、NGO、政策立案者、企業、およびその他の利害関係者に水産物持続可能性の包括的な概要を提供するものです。2021年、このツールは完全に再設計され、機能性の向上が図られました。このツールでは、ユーザーがチャートを操作したり、データをフィルタリングしたり、特定のデータセットを分離して、集団的影響や上位の国や魚種のパフォーマンスを説明したりすることができるようになり、ツールの有用性を高めています。



サステナブルシーフードデータツールは、FAOから公開されているデータと会員のデータを組み合わせて使用しています。適用される手法により、会員プログラム全体の数量が減少する可能性があります。

“過去数年にわたりASCと協力し、責任ある水産養殖、特に水産養殖の改善を相互に支援する方法を探ることは、貴重で有益なプロセスでした。”

Dave Martin, 持続可能な漁業パートナーシップ プログラムディレクター



Seabream farmer, Croatia

ASCは、認証と格付けのコラボレーションという文脈で行われた作業を基に、スイスの経済局SECOの支援を受け、ISEAL革新基金の共同出資による「水産物認証と管轄区域の保証モデルの統合」プロジェクトを主導しました。

持続可能な漁業パートナーシップ（SFP）およびモンレーベイ水族館のシーフードウォッチプログラム（SFW）とのパートナーシップにより、この3年間のプロジェクトでは、3つの主要分野についてコラボレーションと統合の機会を模索することになりました。:

- パフォーマンス評価を向上させるためのデータ統合
- 養殖場改善のためのマルチスケールアプローチの構築
- 非認証養殖場が格付けされた製品を市場に供給する際の検証モデルの開発

プロジェクトのパートナーは養殖方法を改善するという同じ目標を掲げていますが、これらの様々なプログラムの範囲や到達点が異なるため、生産者や市場にとっての状況は複雑になっています。そこで、このプロジェクトでは、養殖場、地域、国など異なるレベルで活動する組織間のデータ共有について検討しました。

プロジェクトの学びの中で、この作業は、水産業界の改善に貢献する機会、水産養殖改善プログラム（AIP）の取り込みのための仕組みと教訓、プロジェクトパートナーとの継続的な協力の機会をさらに明確化するものです。

認証と格付けのウェブサイトとISEALイノベーション基金のプロジェクトページをご覧ください。



Salmon Farm, Chile





財務報告

09



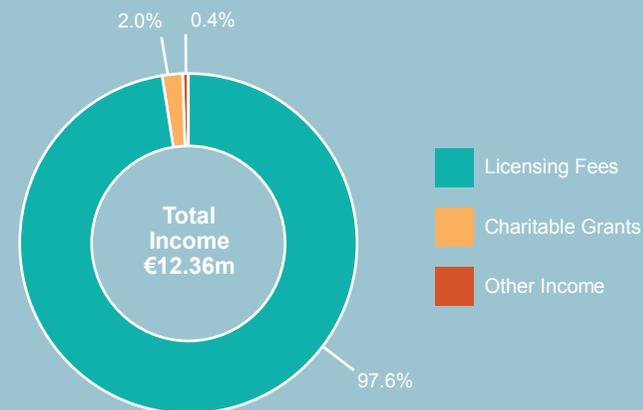
# 財務報告

独立した非営利団体であるASCは、ASCラベルを自主的に使用するためのライセンス料と、チャリティー助成金の2つを主な財源としています。2021年、ASCは引き続きロゴライセンスからの収入が堅調に伸びています。

これは、厳しい支出管理と相まって、ASCは基本的な運営費を自らの収入で賄うことができたことを意味し、一方で寄付金によっていくつかの個別のプロジェクト費用をまかない、財政的な準備金の形成を継続することができました。これまでのところ、このビジネスモデルの成功は心強いものでした。

しかし、既存のニーズや新たなニーズを満たすために支出が増えるにつれ、組織の財務的な強度を確保する必要性も出てきました。この状況を打開するため、ASCは引き続き慈善事業からの支援を求め、付加価値の高い新しい取り組みを模索していきます。

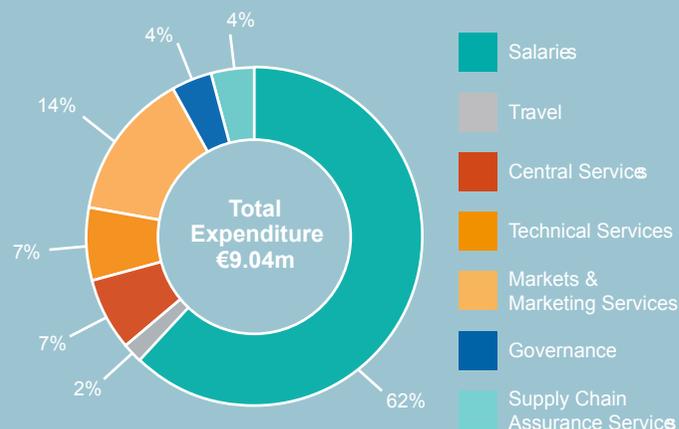
また、事業活動に加えて、時間的制約のあるプロジェクトにも取り組んでいきます。



## ロゴライセンスング

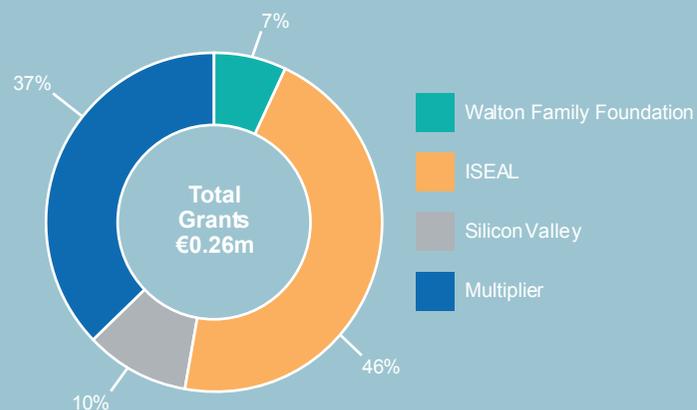
ASCの従来収入源は、CoC認証を取得した企業がASCロゴを使用する際にASCインターナショナルとロゴライセンス契約を締結し、お支払いいただく手数料です。このロゴは、小売業者や消費者に対し、最も責任を持って生産された養殖水産物を調達していることを示す象徴として機能します。

養殖場認証とCoCの認証を取得するためには認証機関を自由に選択できる独立性を確保しており、ASCは養殖場やサプライチェーンのパートナーの審査費用から収入を得ることはありません。



## 支出

2021年の支出の半分以上は、このレポートを通して示された活動やイニシアチブを実施するための運営をサポートするものでした。多岐にわたる分野のスタッフがいないければ、ASCは2021年に迎える安定と成長を経験することはできなかったでしょう。残りの支出は、マーケティング、コミュニケーション、技術、保証、ガバナンスの各システムが果たす重要かつ補完的な役割を認識し、各プログラムに分配しています。これらの活動は、ASCの継続的な成功のカギを握っています。



## 慈善事業助成金

ASCは、幸運にも、責任ある水産養殖を支援するためのさまざまな活動を推進する慈善団体の助成金を受けています。これらの活動は、影響に関する研究、新しい要求事項の開発、インプルーブプログラムの試行、運営活動の支援などに寄与しています。2021年には、スイス経済事務局（SECO）が支援するISEAL革新基金を通じて3年間の助成を受け、プロジェクト活動を継続し、これを通じてパートナーと協力して改善プログラムの試験運用を行いました。

ASCは英国とオランダで登録された慈善団体です。水産養殖管理協議会の連結財務諸表には、Aquaculture Stewardship Council Limited（慈善団体登録番号 01150418、会社登録番号 08172832）、ASCI Limited（会社登録番号 07788176）、Stichting Aquaculture Stewardship Council Foundation（KvK 34389683）およびASCI Netherlands BV（KvK 74368249）の業績が記載されています。



Shrimp Farm, Thailand





# 10 より良い将来の ために



# より良い将来のために

今後、ASCの活動は、2022年に実施される戦略改訂によってサポートされます。私たちのプログラムのすべての側面において明確な進展が見られる中、私たちは、強力なグローバル認証プログラムの達成、生産者との関わりを通じた養殖場生産の改善、市場全体におけるASC認証のさらなる発展、ASCの認知度の向上、協業、組織開発の強化に引き続き重点を置いていく予定です。

2022年以降、米国、英国、南ヨーロッパ市場において、ASCラベル付き製品の強力な普及が見込まれ、すべての市場において継続的な投資が行われる予定です。私たちは、ASC飼料基準と養殖場基準の実施に向けて、データの提出、利用、共有のための新しく革新的な方法を開発しており、これらの新しい基準は市場の期待の高まりに対応しています。

ASCのキャンペーンは、ASCの価値について消費者の認識を高めることに重点を置いて継続されます。サプライチェーンの保証、魚の福祉要件、温室効果ガス排出量計算ツールの改善は、責任ある水産養殖に貢献する私たちのプログラムの関連性をさらに高めるでしょう。

そして最後に、ASCのインプルーブプログラムのさらなる開発と試験運用は、従来の生産と認証の間のギャップを埋め、継続的な改善のためのメカニズムを提供し、生産者が透明性のある方法で有意義で測定可能な変化を示すことを可能にします。

**ASC認証養殖場、CoCパートナー、同僚、資金提供者の皆様には、このレポートの内容や今後の開発作業にとって重要であるASCプログラムへの継続的な支援と、透明性への共通のコミットメントに感謝いたします。**

## 支援方法



### 認証を取得する

養殖業と飼料生産の改善、およびサプライチェーンへの責任ある製品の提供にコミットする

### ラベルを製品を選ぶ



養殖水産物はどれも同じではない。私たちの認証は、あなたの水産物が最高基準を満たしていることを保証する



### インプットを提供する

養殖場監査、パイロットプロジェクト、開発中またはレビュー中の基準について、専門知識を共有し、コメントを提供する



### ストーリーをシェアする

私たちと一緒に、より責任ある方法で生産された水産物を世界に広める

## 手法に関する注記

当プログラムが維持し、本レポートで使用しているASCデータは、いくつかのメカニズムを通じて収集されています。

認証機関が養殖場の所在地と認証単位、収穫された製品の量、生産サイクルにおける環境および社会指標に関する養殖場の実績が詳細に記載されています。

これらの審査報告書のデータは、生産者のデータ提出と合わせて、養殖場がASCの基準内の要求事項に適合していることを確認し、プログラムのパフォーマンスを監視・評価するために使用されます。

ASC認証取得数は、有効な認証のうち、ある月に報告されたものの合計を表します。製品および市場のデータは、MSCのCoC認証およびロゴのライセンス契約を結んでいるサプライチェーン関係者から入手したものです。製品数は、ASCラベルが貼付された消費者向けの（市場で）有効な製品に基づきます。2021年の数値は、2022年1月1日時点で得た完全な1年間のデータです。

認証単位とは、ASC認証が対象とする業務のことです。生け簀などのすべての生産または収穫現場、および製品がさらにCoCに入る時点までの、顧客の管理下にあるすべての保管、輸送、食肉処理、加工業務（下請け業務を含む）が含まれます。

環境と社会の改善に関する分析は、認証サイクル中に認証機関が毎年記録する不適合（NC）データに基づいて行われます。養殖場がASC基準の要求事項に完全に適合していない場合、認証機関は不適合を提起し、要求事項を完全に満たすために改善が必要であることをその養殖場に通知します。不適合は、適合、非適合、非該当、または非監査として、認証機関により報告されます。不適合は、問題の重大性とそれを解決するために取るべき措置によって、軽微または重大に等級付けされます。

報告されたすべてのNCは、ASCの持続可能性の7つの原則に沿った影響分野に割り当てられ、同じ指標について以前の監査（2019年または2020年）で提起されたNCと比較して2021年に改善がなされたかどうかを相互参照しています。

改善は、不適合の削減または閉鎖によって証明され、その結果としてアクションが取られ、インパクトエリア全体でASC基準によって集計されました。改善の割合は、同じ指標について前回の監査（2019年または2020年）で指摘されたNCの総数に対して、2021年に改善されたNCの数を比較した結果です。11のASC基準（ASC-MSC海藻基準を除く）において、2021年のUoC全体の約3分の1に相当する543の認証単位（改善の有無を特定するために年度間で十分なデータがあるUoC数）を対象に、合計40203の指標が評価されました。手法の詳細やASCデータの請求については、[data@asc-aqua.org](mailto:data@asc-aqua.org) までご連絡ください。

本レポートの参照先:

**Aquaculture Stewardship Council (ASC). 2022. 年次報告書 2021: Transforming Aquaculture. [www.asc-aqua.org](http://www.asc-aqua.org)**

